

平成 26 年 3 月 20 日
政策経営部企画課

長期計画(前期)における外部評価の総括について

1 外部評価制度の導入(平成 22 年度)

(1) 行政評価システム見直し

本区の行政評価システム(行政評価制度)は、平成 13 年度にスタートし、平成 13 年度に約 1,000 あった事務事業(一般会計)が平成 22 年度には約 700 事業となるなど、区政運営の効率化に寄与してきた。

一方で、職員自らが評価を行う内部評価のみの制度であったため、評価の客観性や透明性の確保が不十分であり、また評価結果と予算編成の関係が不明確であるといった課題があった。

こうした課題へ対応するため、新たな長期計画のスタートに合わせ、行政評価システムの見直しを実施することとした。

(2) 外部評価の導入

① 外部評価委員会の設置

従来の内部評価に加え、公募区民・学識経験者等から成る外部評価委員会を設置し、行政評価に客観的な視点を取り入れた。また、委員会を公開で実施することにより、評価制度の透明性を高めた。

② 内部評価に一次評価・二次評価を設定

【一次評価】全施策について、主管部長による施策評価を行う。外部評価対象施策については、評価結果を外部評価委員会に提出する。

【二次評価】一次評価・外部評価の結果を踏まえた、区の最終評価。二次評価は、予算編成前に確定し、評価結果に基づき施策の実施のあり方の見直しを図り、必要に応じて予算への反映を図る。

2 外部評価委員会について

(1) 構成

| |
|--|
| 平成 22 年度 学識経験者 3 名 評価経験者 3 名 公募区民 3 名 計 9 名 |
| 平成 23 年度 <公募区民委員を 3 名追加> 学識経験者 3 名 評価経験者 4 名 公募区民 6 名 計 13 名 |
| 平成 24 年度 <2 年間務めた公募区民委員を入れ替え> 学識経験者 3 名 評価経験者 4 名 公募区民 6 名 計 13 名 |
| 平成 25 年度 <2 年間務めた公募区民委員を入れ替え> 学識経験者 3 名 評価経験者 4 名 公募区民 6 名 計 13 名 |

◇委員名簿（25 年度 評価経験者委員・学識経験者委員）

| 氏 名 | 委員区分等 | 役 職 | 在任期間 |
|---------|-------|----------------------------------|---------------|
| 安 念 潤 司 | 評価経験者 | 中央大学法科大学院 教授 | H22.4月～H26.3月 |
| 木 村 乃 | 評価経験者 | 明治大学 特任准教授 | H22.4月～H26.3月 |
| 藤 枝 聡 | 評価経験者 | 立教大学総長室教学連携課職員 | H22.4月～H26.3月 |
| 大 塚 敬 | 評価経験者 | 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 株式会社 主任研究員 | H23.6月～H26.3月 |
| 桑 田 仁 | 学識経験者 | 芝浦工業大学 准教授 | H22.4月～H26.3月 |
| 牧 瀬 稔 | 学識経験者 | 法政大学大学院 兼任講師 | H23.6月～H26.3月 |
| 山 本 かの子 | 学識経験者 | 元大正大学 准教授 | H22.4月～H26.3月 |

※ 評価経験者による小委員会を設置し、外部評価委員会でも出された意見(評価)の調整等を行う。

(2) 評価対象

長期計画に定める施策（「計画の実現に向けて」を含める）

※2 年で全施策の評価を行う。

◇ 平成 22～25 年度外部評価対象施策 (○の施策を当該年度の外部評価の対象とする)

| 施策の大綱 | 基本施策 | 施策番号 | 施 策 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|------|------|------|------|
| 水と緑豊かな地球環境にやさしいまち | 水辺と緑に彩られた魅力あるまちの形成 | 1 | 水辺と緑のネットワークづくり | ○ | | ○ | |
| | | 2 | 身近な緑の育成 | | ○ | | ○ |
| | 環境負荷の少ない地域づくり | 3 | 地域からの環境保全 | | ○ | | ○ |
| | | 4 | 循環型社会の形成 | ○ | | ○ | |
| | | 5 | 低炭素型社会への転換 | ○ | | ○ | |
| 未来を担う子どもを育むまち | 安心して子どもを産み、育てられる環境の充実 | 6 | 保育サービスの充実 | ○ | | ○ | |
| | | 7 | 子育て家庭への支援 | | ○ | | ○ |
| | 知・徳・体を育む魅力ある学び舎づくり | 8 | 確かな学力・豊かな人間性・健やかな体の育成 | ○ | | ○ | |
| | | 9 | 安心して通える楽しい学校(園)づくりの推進 | ○ | | ○ | |
| | | 10 | 地域や教育関係機関との連携による教育力の向上 | | ○ | | ○ |
| | 子どもの未来を育む地域社会づくり | 11 | 地域ぐるみの子育て家庭への支援 | ○ | | ○ | |
| | | 12 | 健全で安全な社会環境づくり | | ○ | | ○ |
| 13 | | 地域の人材を活用した青少年の健全育成 | | ○ | | ○ | |
| 区民の力で築く元気に輝くまち | 健全で活力ある地域産業の育成 | 14 | 区内中小企業の育成 | ○ | | ○ | |
| | | 15 | 環境変化に対応した商店街振興 | | ○ | | ○ |
| | | 16 | 安心できる消費者生活の実現 | | ○ | | ○ |
| | 個性を尊重し、活かす地域社会づくり | 17 | コミュニティの活性化 | | ○ | | ○ |
| | | 18 | 地域で参加・還元できる生涯学習・スポーツの推進 | ○ | | ○ | |
| | 地域文化の活用と観光振興 | 19 | 男女共同参画社会の実現 | ○ | | ○ | |
| | | 20 | 文化の彩り豊かな地域づくり | | ○ | | ○ |
| ともに支え合い、健康に生き生きと暮らせるまち | 健康で安心して生活できる保健・医療体制の充実 | 22 | 健康づくりの推進 | | ○ | | ○ |
| | | 23 | 感染症対策と生活環境衛生の確保 | | ○ | | ○ |
| | | 24 | 保健・医療施策の充実 | ○ | | ○ | |
| | 誰もが自立し、安心して暮らせる福祉施策の推進 | 25 | 総合的な福祉の推進 | | ○ | | ○ |
| | | 26 | 地域で支える福祉の充実 | ○ | | ○ | |
| | | 27 | 自立と社会参加の促進 | ○ | | ○ | |
| | | 28 | 計画的なまちづくりの推進 | ○ | | ○ | |
| 住みよさを実感できる世界に誇れるまち | 快適な暮らしを支えるまちづくり | 29 | 住みよい住宅・住環境の形成 | | ○ | | ○ |
| | | 30 | ユニバーサルデザインのまちづくり | ○ | | ○ | |
| | | 31 | 便利で快適な道路・交通網の整備 | | ○ | | ○ |
| | 安全で安心なまちの実現 | 32 | 災害に強い都市の形成 | | ○ | | ○ |
| | | 33 | 地域防災力の強化 | | ○ | | ○ |
| | | 34 | 事故や犯罪のないまちづくり | ○ | | ○ | |
| 計画の実現に向けて | 1 | 区民の参画・協働と開かれた区政の実現 | ○ | | ○ | | |
| | 2 | スリムで区民ニーズに的確に対応した行財政運営 | | ○ | | ○ | |
| | 3 | 自律的な区政基盤の確立 | | ○ | | ○ | |

(3) 評価方法

一次評価として施策の主管部が事前に作成する施策評価シート、行政評価（二次評価）結果への取り組み状況説明シート（平成 24 年度から使用）及び事業概要一覧等に基づき、今後 5 年間の施策の方向性等について評価を行う。

(4) 実施方法(公開)

① スケジュール

- 6 月下旬 ガイダンス
- 7 月 施策所管部課長との班別ヒアリング
- 8 月中旬 評価結果のまとめ
- 翌年 3 月 当該年度行政評価結果の報告

② ヒアリングの実施方法（25 年度）

外部評価にかかる所管部課長とのヒアリングについては、以下の要領で行う。

- 委員長を除く委員 12 名を 3 班に分け、担当する施策の評価を行う。（評価経験者 1 名・学識経験者 1 名・公募区民 2 名を 1 つの班とする）
- 「計画の実現に向けて②、③」のみ、全評価経験者委員によるヒアリングを行う。
- 各班は、施策評価シート、行政評価（二次評価）結果取り組み状況説明シート及び事業概要一覧等に基づき、所管部課長とのヒアリングを行う。
- ヒアリングは、1 回あたり 2 時間（1 施策につきおよそ 1 時間）とし、公開で行う。
- 外部評価委員は、基本的には以下の視点に基づき評価を行う。
 - 《外部評価委員の視点》
 - 施策の目標に対して、成果は上がっているか
 - 区民ニーズ・社会状況に対応した取り組みを展開しているか
 - 区民との協働、国・都・民間団体等との役割分担は適切か
 - 施策の総合評価（今後の方向性）
- 各委員は、ヒアリング終了後、外部評価シートを事務局まで提出する。

③ 評価のとりまとめ

各委員から提出された外部評価シートをもとに、委員長及び各班の班長による小委員会で評価案を作成の上、各委員に提示する。外部評価委員会において評価結果報告書としてまとめる。

◇ 平成 25 年度 日程表

| 委員 | 回 | 日時 | 内容 | 説明者(施策主管部長、主管課長) |
|------------|-----------|-------------------|-------------------|--------------------|
| 全委員 | 第1回 | 6月28日(金) 19:00 | ガイダンス | |
| 1班 | 第2回 | 7月5日(金) 19:00 | 施策2 | 土木部長、管理課長 |
| | | | 施策3 | 環境清掃部長、温暖化対策課長 |
| | 第3回 | 7月10日(水) 19:00 | 施策29 | 都市整備部長、住宅課長 |
| | | | 施策31 | 土木部長、交通対策課長 |
| | 第4回 | 7月15日(月) 10:00 | 施策32 | 都市整備部長、建築調整課長 |
| | | | 施策33 | 総務部長、防災課長 |
| 2班 | 第2回 | 7月9日(火) 19:00 | 施策7 | こども未来部長、子育て支援課長 |
| | | | 施策10 | 教育委員会事務局次長、学校支援課長 |
| | 第3回 | 7月27日(土) 10:00 | 施策15 | 地域振興部長、経済課長 |
| | | | 施策16 | 地域振興部長、経済課長 |
| | 第4回 | 7月27日(土) 13:30 | 施策17 | 地域振興部長、地域振興課長 |
| | | | 施策20 | 地域振興部長、文化観光課長 |
| 3班 | 第2回 | 7月3日(水) 19:00 | 施策12 | 教育委員会事務局次長、放課後支援課長 |
| | | | 施策13 | 地域振興部長、青少年課長 |
| | 第3回 | 7月12日(金) 19:00 | 施策22 | 健康部長、健康推進課長 |
| | | | 施策23 | 健康部長、保健予防課長 |
| | 第4回 | 7月24日(水) 19:00 | 施策25 | 福祉部長、福祉課長 |
| | 評価 経験者 | 第5回 | 7月25日(木) 19:00 | 計画の実現に向けて② |
| 計画の実現に向けて③ | | | | 政策経営部長、企画課長 |
| 小委員会 | | 7月23日(火) 19:00 | 評価結果のまとめ | |
| | | 8月10日(土) 19:00 | 評価結果のまとめ | |
| 全委員 | 第6回 | 8月16日(金) 19:00 | まとめ | |
| 全委員 | 第7回 | 3月20日(木) 19:00 | 行政評価結果 報告 | |

(5) 評価結果の取扱い

各所管で行う一次評価、外部評価を踏まえ、企画課で二次評価（区の最終評価）案をまとめ、長期計画推進委員会、経営会議の審議を経て庁議で二次評価を確定する。各所管は、評価結果に基づき、施策の実施のあり方の見直しを図り、必要に応じて予算への反映を図る。

(6) これまでの評価の概要

① 多くの施策に共通する評価内容

(ア) 施策や事業の目的に沿った区民ニーズの把握が適切に行われていないと思われる事例が多い。新たな住民が多い地域や既存の市街地など、地域毎にニーズが異なる場合もあり、きめ細かい区民ニーズ把握が重要である。

(H23 施策 7、H25 施策 17 ほか)

(イ) 施策を検証するには、実態を的確に表すアウトカム指標や適切な目標値の設定が必要である。

(H22 施策 8、H24 施策 28、H24 施策 34 ほか)

(ウ) 施策を実現するために、多数の組織の関与が必要な分野が多く存在する。庁内での積極的な連携を進めてほしい。

(H23 施策 13、H24 施策 30 ほか)

(エ) 施策推進に要するコストを誰がどのように負担するのか、十分な検討が必要である。区民・事業者・行政の適切な『役割分担』の観点から、どこまでを公費で支援するのか十分に議論してほしい。

(H23 施策 23、H24 施策 18 ほか)

② 4年間の外部評価を通して（平成25年度外部評価結果報告書『総評』より）

平成22年からの4年間ですべての施策に対して2回の外部評価を実施したところである。施策によって進捗状況に差異があるものの、成果指標から見ると現時点では概ね長期計画に沿った施策が実施されているものと判断できる。

しかしながら、リーマンショック後の長引く税収難、東日本大震災の発生、生活保護受給世帯の急増など、この4年間に区政を取り巻く環境は激変している。さらに、人口が急増している本区でも、いずれ人口減少社会に転ずることは必至であり、遠からず現在の計画策定手法を大きく変更せざるを得ない時代が到来すると考えられる。

厳しい社会経済状況を背景に、限られた財源の中で多様化する区民ニーズを実現していくためには、現在の施策全般を徹底的に見直し、もう一段厳しい姿勢で効率的な行財政運営を目指していただきたい。併せて、その取り組みの進捗状況を客観的に評価、公表するシステムづくりも必要であろう。

3 外部評価の実施結果について

(1) 「客観的な視点」の導入

「委員名簿」に示したとおり、評価経験者（国または他自治体での行政評価事務に携わったことのある方）、学識経験者及び公募区民から、専門性の高い指摘や区民に身近な意見など、内部評価とは異なる多様な評価を得られた。

〈外部評価が二次評価に反映された項目数・割合〉

| | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|
| 二次評価項目数 | 52 | 69 | 65 | 68 |
| 外部評価を反映した項目数 | 30 | 45 | 42 | 27 |
| 外部評価を反映した割合 | 57.7% | 65.2% | 64.6% | 39.7% |

(2) 「透明性の確保」

・区民の積極的な参加を促すため、簡単な論文のみで広く委員を公募したが、応募する区民の数が非常に少なく、特に女性の応募が少なかった。

| | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|----------|------|------|------|------|
| 募集人数 | 3人 | 3人 | 4人 | 2人 |
| 応募人数 | 12人 | 16人 | 15人 | 4人 |
| うち女性応募人数 | 4人 | 3人 | 3人 | 0人 |

・会議はすべて公開（傍聴可能）で行った。主に夜間に開催したほか、平日に都合が悪い人を考慮し土日昼間にも開催したが、傍聴者は非常に少なく（25年度の延べ傍聴者数は 5人）、透明性の確保という点で満足のいく結果とはならなかった。

| | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|----------|------|------|------|------|
| 傍聴者数（延べ） | 3人 | 2人 | 2人 | 5人 |